教　科　名	科　目　名	履　修　学　年	履 修 区 分	単　位　数
国語	現代の国語	１年（一般コース）	必修	２

目　標	社会に必要な国語の知識や技能について理解し,他者とのかかわりの中で,自分の思いや考えを広げたり深めたりすることで,国語で的確かつ効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
教　科　書	現代の国語　（大修館書店）
副　教　材	現代の国語　学習課題ノート（大修館書店） 実践文字力　トリプルチェック（尚文出版）
授　業　形　態	論理的な文章と実用的な文章を講義形式で行いながら，グループワークなどを取り入れる。
評　価　規　準	＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や役割について理解している。 ・社会生活に必要な語句や語彙を覚え,適切に使おうとしている。 ・話や文章に含まれている情報を適切に読み取ることができる。 ＜思考・判断・表現＞ ・論理の展開を予想しながら聞き,話の内容や表現の仕方の工夫を読み取ることができる ・自分の考えや事柄が相手に伝わるように根拠を提示し,説明の仕方を工夫することができる。 ・相手の反応や反論を予想して話の構成や展開を考え,自分の思いや考えを伝えることができる。 ＜主体的に取り組む態度＞ ・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わろうとしている。 ・進んで文章に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。
評　価　方　法	定期試験（年３回）の結果を中心に，授業への取り組み方（出欠・態度・忘れ物・発表・提出物）や小テストなどを考慮して総合的に評価する。
学習上の留意点	中学までの国語とは違って高校の国語は学びを深め,様々な能力を高めることを目標としています。それが社会で必要な力につながってきます。文章を読んでいく中で,作者の考え方や気持ちを理解し,自分の意見を持つことを意識し,意欲的な学習態度で授業に取り組んでください。

授業計画及び試験計画［　現代の国語：1年一般コース　］

内　　容	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下
『考える技術』 野矢　茂樹 （３時間）												
魅力的に伝える （２時間）												
『水の東西』 山崎　正和 （６時間）												
的確に伝える （２時間）												
『空気を読む』 香山　リカ （５時間）												
夏季休暇課題												
『「動」への変化』 落合　陽一 （６時間）												
『「安くておいしい 国」の限界』 小熊　英二（６時間）												
資料を駆使する （２時間）												
『美しさの発見』について 高階　秀爾 （７時間）												
冬期休暇課題												
『白』 原　研哉 （５時間）												
『作業ロボットの悲劇』 松田　雄馬 （７時間）												
定期試験				１学期期末試験					２学期期末試験			３学期期末試験

凡　例

授業計画

試験範囲